

2023年9月1日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

日本システムケア株式会社と株式会社ビー・テックとの資本業務提携について

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン3号投資事業有限責任組合（以下併せて「弊社」）の投資先である日本システムケア株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役社長 家近 茂、以下「JSC」）は本日付けで、株式会社ビー・テック（本社 大阪府大阪市、代表取締役社長 吉村 昭、以下「ビー・テック」）への投資を実行致しましたのでお知らせします。

JSCは、創業以来、環境コンプライアンスに配慮したITAD（IT Asset Disposition:情報機器資産の処分）サービスを提供しています。「ITと環境の融合を図り、人と社会の成長に貢献する企業を目指します。」を企業理念として、IT機器のリユース・リサイクルを通じた循環型社会の実現に取り組んでおります。

ビー・テックは、情報機器の導入計画の立案、機器の設置、導入後の運用体制をサポートするフィールドサポート事業、情報機器の調達からクライアントの利用前の個別の設定まで一括して行うキッティング事業、PACS（医療画像保管システム）やRIS（放射線科情報システム）等のシステム構築、運用保守、ヘルプデスクの運営を行う医療ITサポート事業を展開し、お客様のITライフサイクルを支援しています。

本資本業務提携は、JSCとビー・テックがそれぞれ培ってきた強みを組み合わせることにより、IT端末にかかる様々なニーズに対応可能な体制の強化を加速する為の取組みです。本件の経緯・目的や今後の展望などの詳細につきましては、JSCによる2023年9月1日付ニュースリリース「日本システムケア、株式会社ビー・テックの子会社化に関するお知らせ」をご参照下さい。

弊社は本資本業務提携を通じた両社のシナジー実現に取り組むことで、両社の企業価値向上に尽力する所存です。

以上

ニューホライズンキャピタル株式会社について

2002年2月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006年10月の会社分割を経て、通算20年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額2,700億円超）を有する。現在は、ニューホライズンキャピタルとして6本目、創業から10本目のファンドを運営中。2002年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとするニューホライズンキャピタルのチームメンバーは、フェニックス・キャピタルにおいて、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ等、また、ニューホライズン1号から4号ファンドにおいても多数の投資を実行し、開示可能なエクイティー投資先だけで約50社、全体では100社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先（弊社広報担当）：

インターナショナル・ファイナンシャル・コンサルティング株式会社

竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921